

# 令和5年度年次事業計画【新規事業】（抜粋）

資料4

## 政策1 地域資源を最大減生かした誘客

政策	施策	実施事業	R5事業内容	事業費（千円）
1-1地域資源を活用した魅力的で多様なコンテンツの創出と流通促進	(1) 地域資源を活かしたコンテンツ開発の支援	①歴史、伝統、文化、自然を活かしたコンテンツ開発	<p>文化・観光DX事業（デジタル田園都市国家構想交付金申請事業） ・デジタルコンテンツでつなぐ「旅マエ・旅ナカ・旅アト」</p> <p>本市の文化・観光分野の課題として、貴重な財産である文化財などを観光誘客や学びのコンテンツとして活用しきれていないことが挙げられる。本事業では、長野市の財産である文化財を起点とし、旅マエの「予感」、旅ナカの「体感」、旅アトの「満足感」を味わうことにより、川中島古戦場及びその周辺の松代地域への誘客・周遊を促進するデジタルコンテンツの構築をする。</p> <p>(1) 川中島古戦場特設サイトを構築 (2) 屏風絵図3Dデジタルアニメーションの作成 (3) 屏風絵図3D合戦VRの構築 (4) 甲冑ARの構築 (5) デジタルスタンプラリー＋NFTコレクションの構築 (6) 戦国ぬりえコンテンツの開発</p>	<p>99,472</p> <p>※上記金額は、国への申請時点の事業費であり、6月議会の補正予算の議決をもって確定いたします。</p>
		③地産消費や地域産品、地域産材を活用したコンテンツ開発	<p>「ながのラーメン」魅力発掘・発信事業</p> <p>本市の食のコンテンツとして「そば」や「おやき」は広く知られているが、「ラーメン」につきましては、全国的に店舗数が多いものの、その魅力に気がついていない状況である。そのため、インバウンドなどにも大変人気のある「ラーメン」に焦点を当て、「長野市はラーメンの激戦区」といった都市ブランディング（意識の醸成）及び情報発信を行うことで、新たな観光資源として、誘客促進や地域経済の活性化を目指していくもの。</p> <p>(1) 基盤調査：ラーメン文化の環境分析・コンセプト分析・プロモーション戦略の策定 (2) プロモーション：上記調査に基づくプロモーションの実施</p>	<p>6,300</p>
		・若者向け（Z世代）やファミリー向けのコンテンツ開発	<p>ながので楽しむ「Eバイク・アクティビティ旅」推進事業</p> <p>新たな観光スタイルとして最近注目されている「Eバイクで巡る旅」や「アクティビティ体験コンテンツ」など、ウィズコロナに対応したコンテンツの造成、発信を行うことで、若者やインバウンドを中心に魅力を発信し、誘客促進と地域経済の活性化を図るもの。</p> <p>(1) Eバイクの拠点整備・受入環境整備 (2) アクティビティ体験コンテンツの商品化・発信・販売</p>	<p>33,050</p>

政策2 魅力を活かしたインバウンドの推進

政策	施策	実施事業	R5事業内容	事業費(千円)
	(1) ターゲット市場への情報発信の強化	・インバウンド旅行プロダクト事業	<p>世界からNaganoへ人を呼ぶインバウンド旅行プロダクト事業            政府の入国要件の緩和に伴い、平成4年9月補正予算を提出して実施している「外国人観光客向けツアー造成事業」を拡大・発展させるとともに、既存のトップセールス事業と一体の事業として再編し、セールスが直接予約獲得に結びつき仕組みを作る。</p> <p>(1) トップセールス及び(2)で造成するプロダクトへの誘導            (2) ターゲット向けのプロダクト(旅行商品)造成およびオンライン予約サイト(OTA)掲載            (3) 国内外の旅行会社が自社サイトにおいて、海外から「飲食や体験を組み込んだ宿泊ツアー」の予約獲得、およびOTAからの予約獲得の手数料にインセンティブ</p>	18,735
2-2ターゲットに届く効果的な情報発信	(2) 他市町村と連携した情報発信	・長野市のハブ機能を活かし、集客力のある観光資源を有する県内自治体と連携した情報発信	<p>白馬村・松本市と「インバウンドを柱とする長期滞在型観光振興に関する連携協定の締結            本協定は、国際的スノーリゾートとしてインバウンド需要が高まる白馬村と、善光寺を中心に門前町の趣とオリンピック開催地のブランド力が融合する長野市と、松本城に代表される歴史・文化・芸術など多彩な観光資源を有する松本市が、ともにタッグを組み、戦略的に互いのリソースやコンテンツを共有市会うことで、新たな魅力や上質で洗練された滞在型空間を創出し、外国人旅行者のニーズを着実に捉えた長期滞在型観光を振興することを目的とする。</p> <p>・連携、協力事項            (1) 観光振興に係る情報共有および情報発信            (2) 観光振興に関する旅行商品の造成支援・研究及びイベントの共同開催            (3) 観光に係るJR北陸新幹線、大糸線、バス、空港など交通機関の活用            (4) 文化・芸術・自然環境・食文化を活かしたアドベンチャーツーリズムの推進            (5) その他前条の目的を達成するために必要な連携・協力</p>	—